

# 2021年3月期 第3四半期 連結決算概況

2021年2月8日



# 1. 連結損益計算書

(単位:億円)

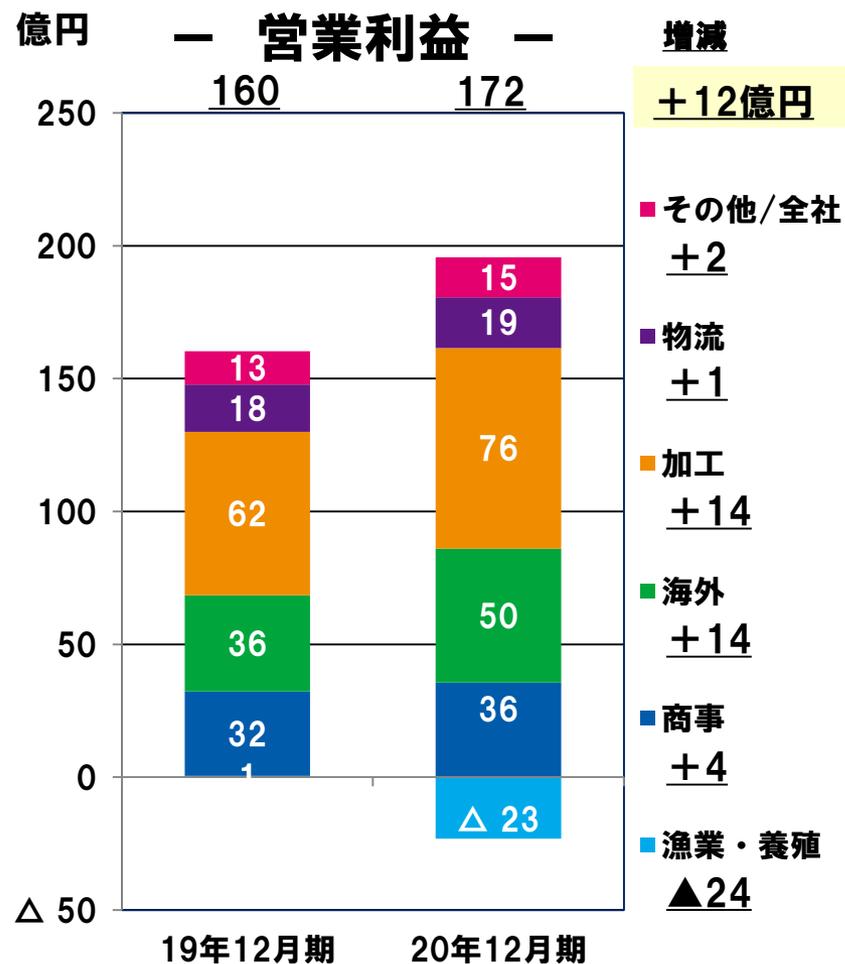
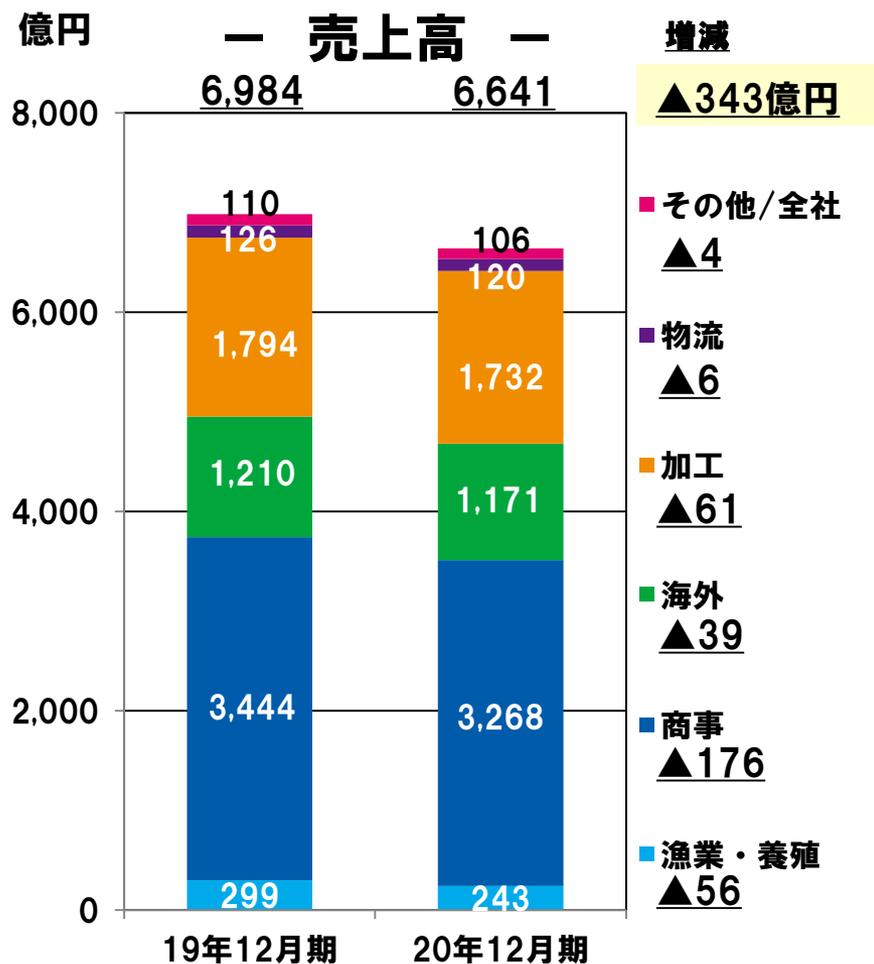
	20年12月期	19年12月期	増減
売上高	6,641	6,984	△ 343
売上原価	5,716	6,052	△ 336
売上総利益	925	932	△ 7
販売費・一般管理費	753	772	△ 19
営業利益	172	160	12
営業外収益	38	43	△ 4
営業外費用	23	17	6
経常利益	188	186	2
特別利益	1	37	△ 36
特別損失	63	8	55
税金等調整前四半期純利益	126	215	△ 89
法人税等	26	66	△ 40
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	20	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	75	129	△ 54

21年3月期計画	進捗率
8,600	77%
150	115%
170	111%
64	117%

当該期間の実績は、売上高は前年対比4.9%の減収となりました。前年対比の営業利益は7.5%増の172億円、経常利益は1.0%増の188億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は41.8%減の75億円となり、2021年3月期計画の64億円に対し117%の進捗率となりました。

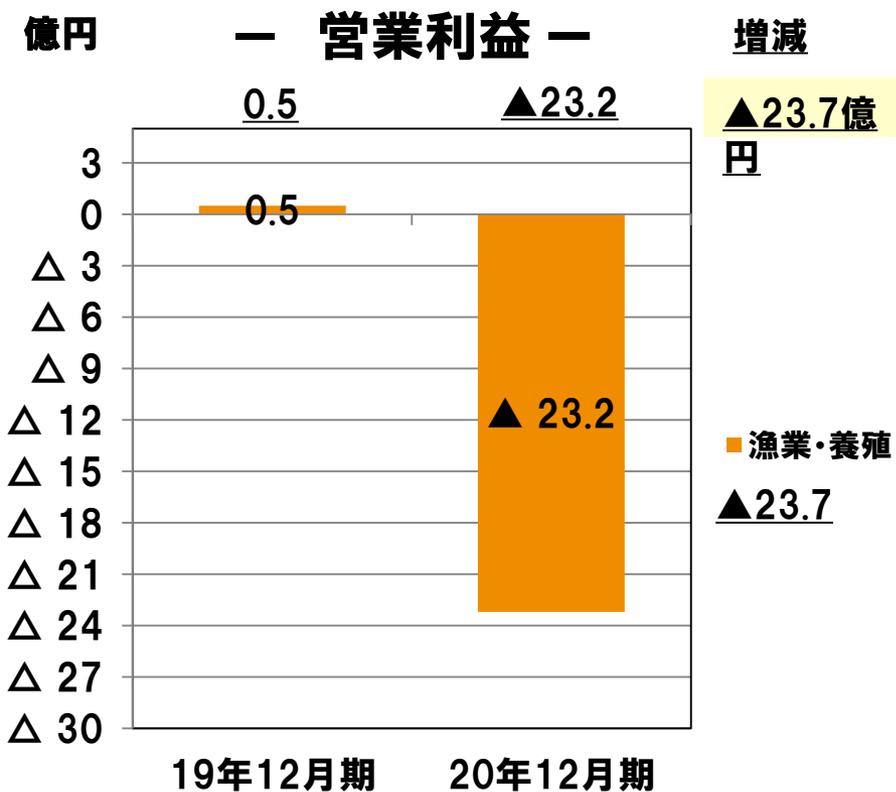
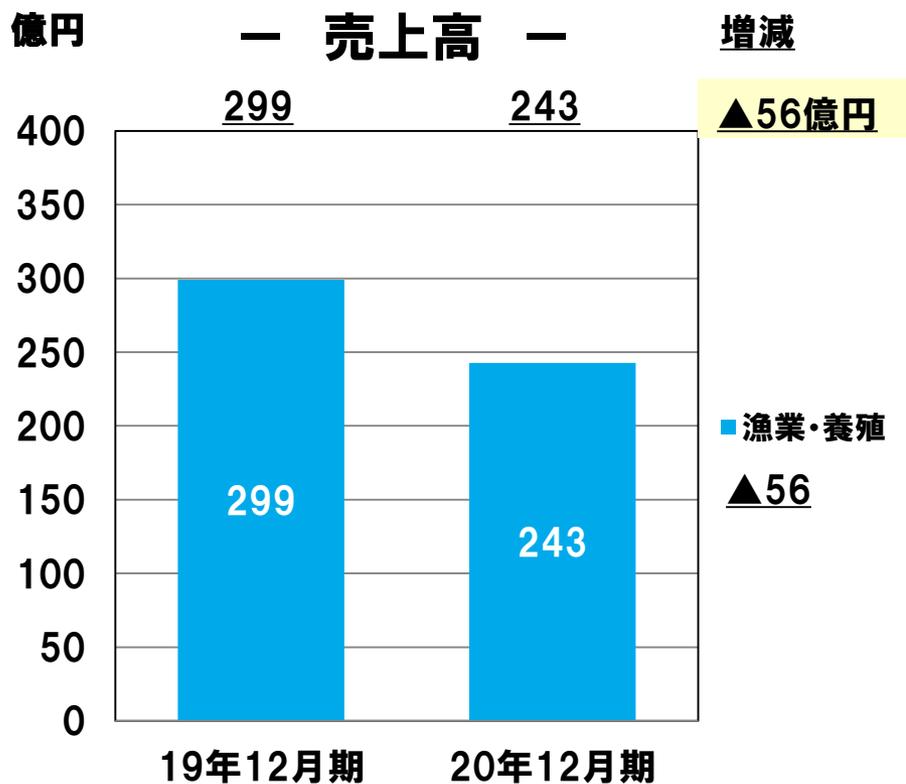
なお、為替差損等により営業外費用が6億円増加し、前期計上の受取賠償金がなくなったことにより特別利益が36億円減少し、北米子会社に係る事業整理損失引当金繰入額等の計上により特別損失が55億円増加しています。

## 2. セグメント別 売上高／営業利益



# 3-①. 漁業・養殖セグメント

■事業概況: まき網漁業におけるカツオの漁獲減、新型コロナウイルスの影響による養殖魚の相場下落により、減収減益。



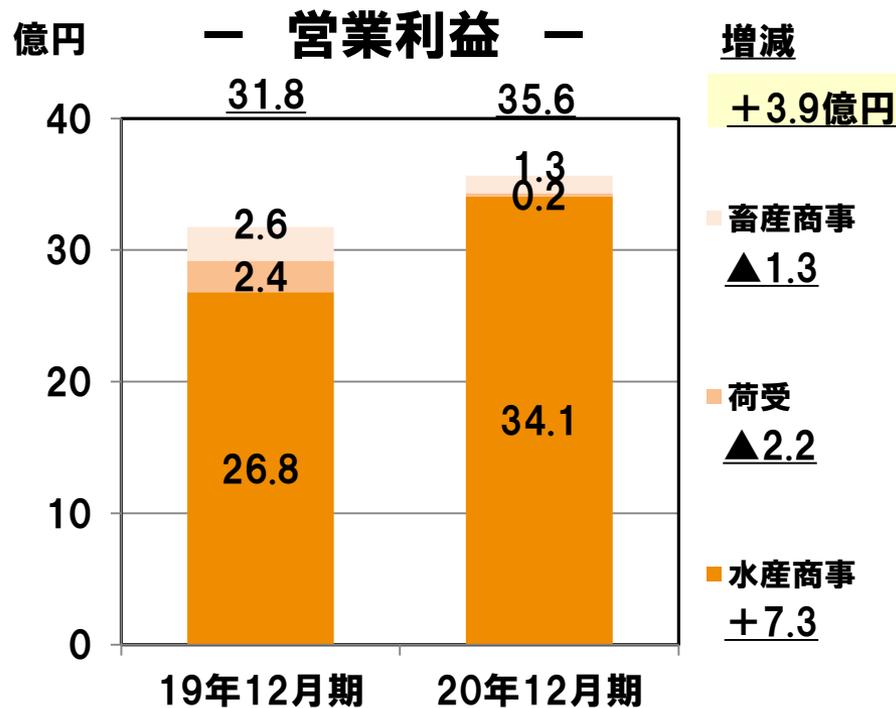
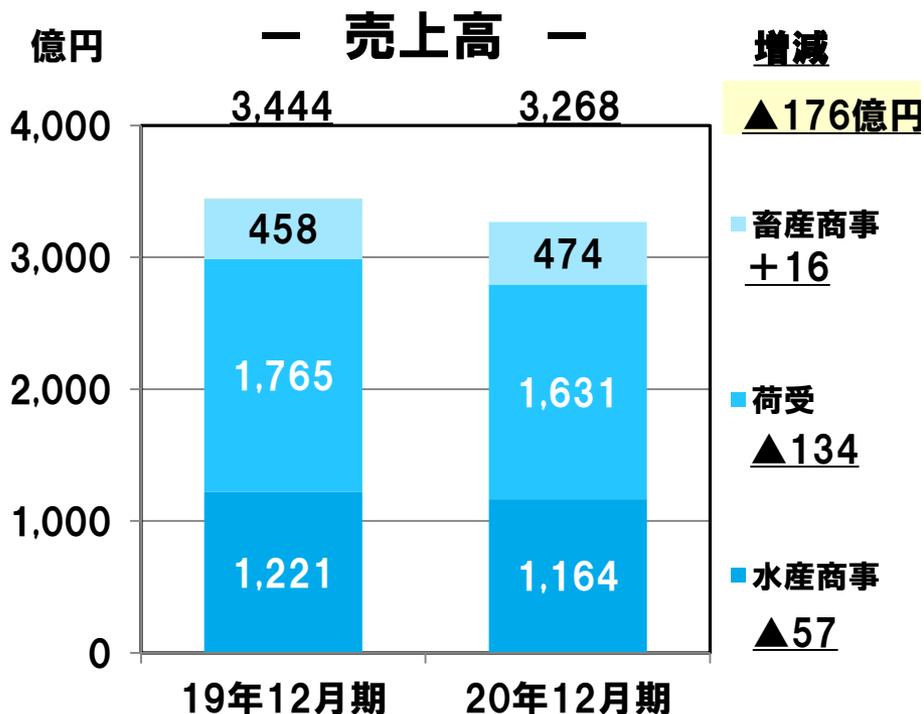
## 3-②. 商事セグメント

### ■ 事業概況:

[水産商事]新型コロナウイルスの影響により、外食・業務筋向けの販売が不振となる一方、量販・宅配向け等の好調チャンネルへの販売シフトもあり、減収増益。

[荷受]新型コロナウイルスの影響に伴う活魚や近海鮮魚等、外食・業務筋向けの高級商材の販売不振により、減収減益。

[畜産商事]全取扱品目において増収となったものの、欧州産豚肉の大幅な減益により、増収減益。

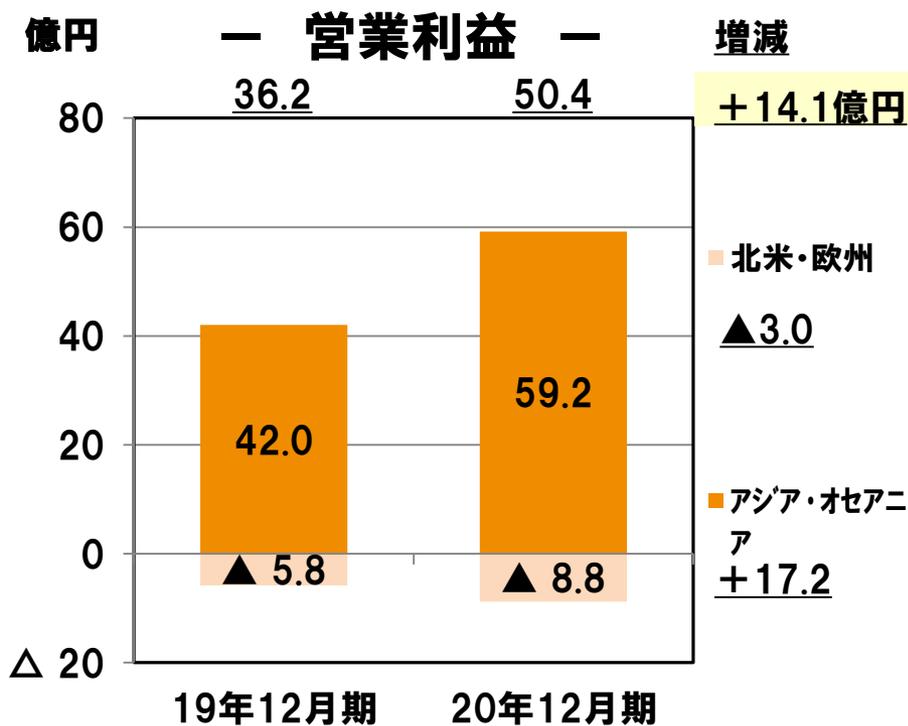
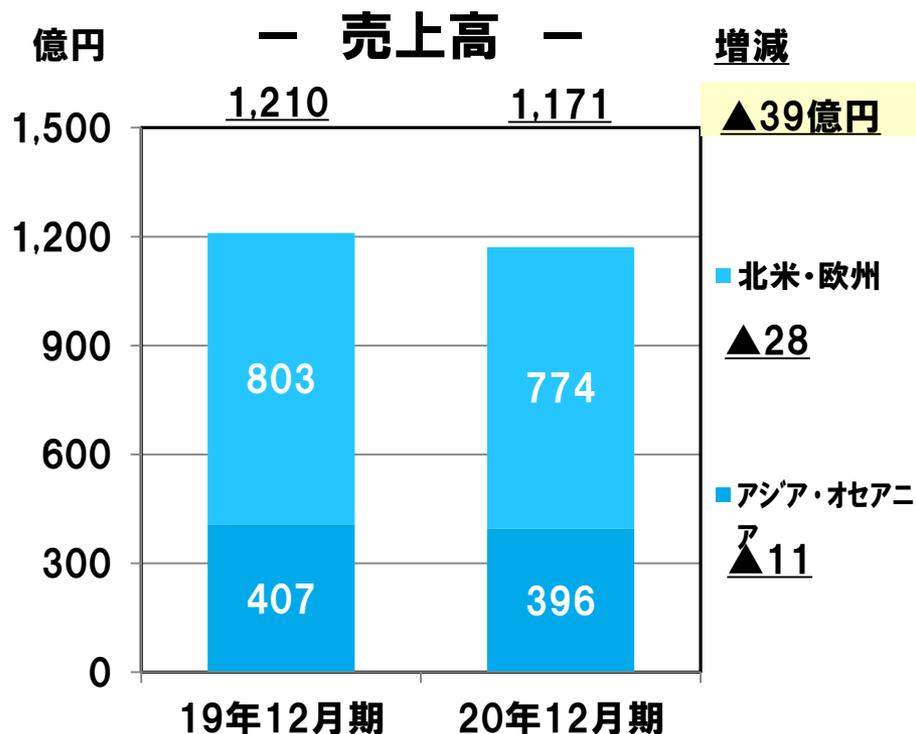


# 3-③. 海外セグメント

## ■事業概況:

[アジア・オセアニア]世界的な新型コロナウイルスの影響を受ける一方、タイのペットフード事業で原料安・対ドルバツ安に加え、強い需要に支えられた結果、減収増益。

[北米・欧州]国内でのすりみの取扱い減、魚卵の単価下落、新型コロナウイルスの影響による欧米での販売減速により減収となり、アラスカにおける新型コロナウイルス水際対策コスト、スケソウダラの魚体小型化と漁獲遅延による生産コスト増等により減益。



# 3-④. 加工セグメント

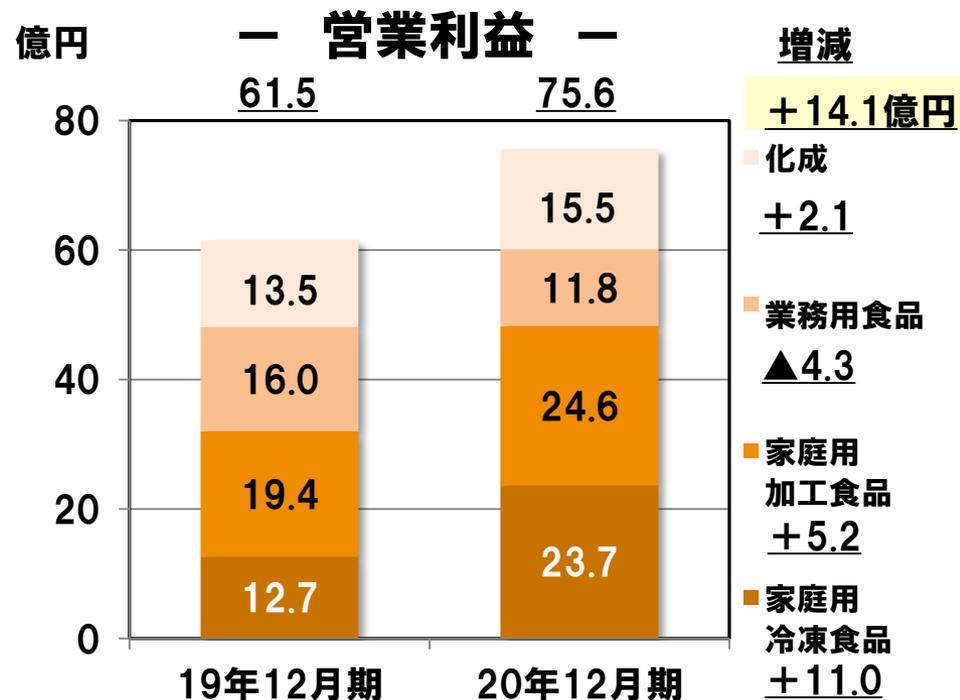
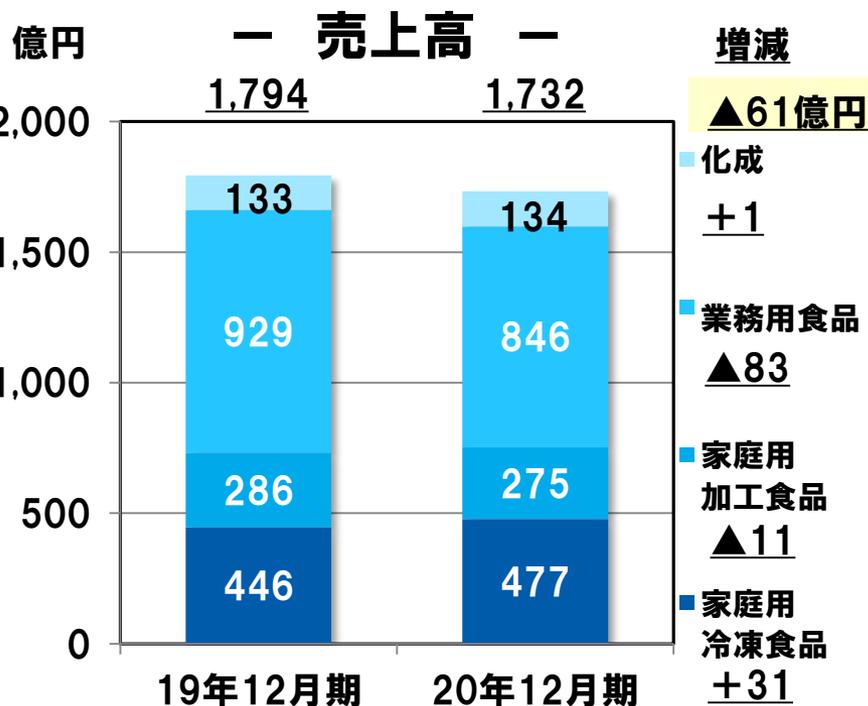
## ■事業概況:

[家庭用冷凍食品]米飯・麺・中華等の主食商品の需要が引き続き堅調に推移し、増収増益。

[家庭用加工食品]ギフト・ちくわ・デザートの販売不振により減収となったものの、フィッシュソーセージを中心に収益性を重視した販売、ゼリー・レトルトの生産体制の見直しに努めた結果、増益。

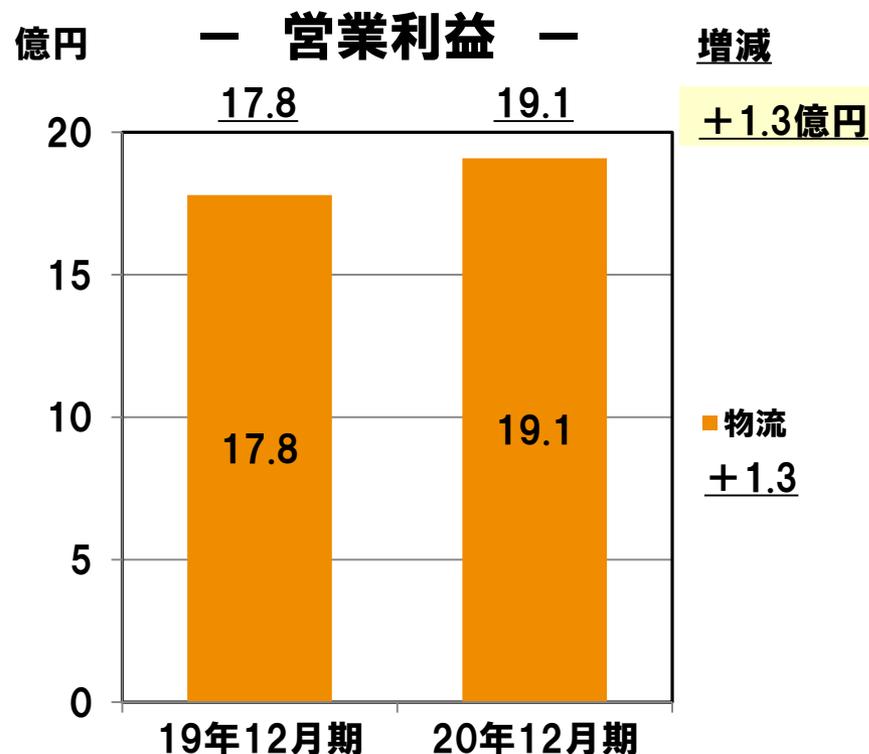
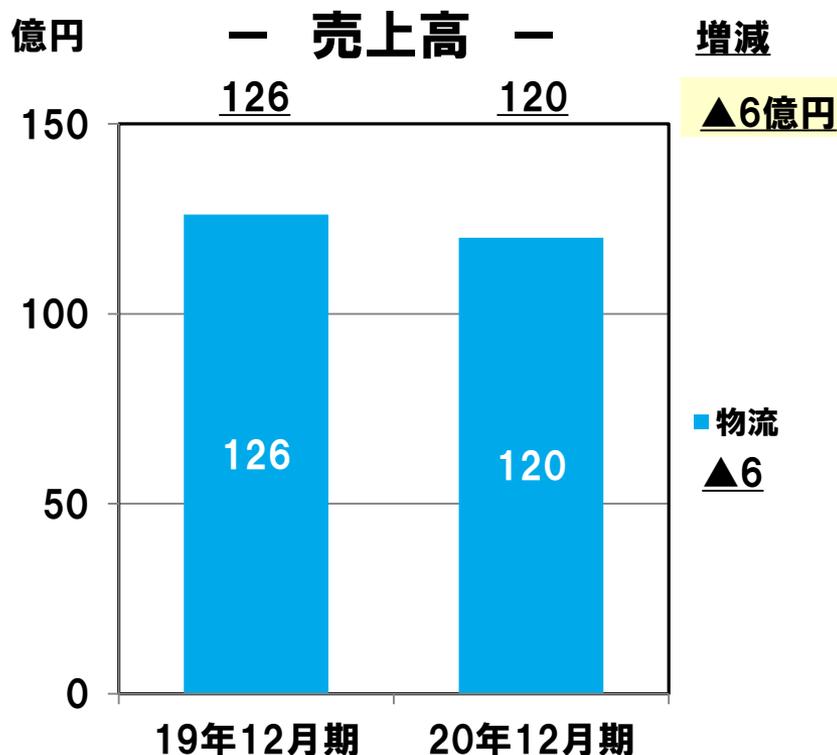
[業務用食品]新型コロナウイルスの影響から徐々に回復基調にあるものの、外食向けの販売は苦戦を強いられており、減収減益。

[化成]DHA・EPA製品及びフリーズドライ製品の販売が伸び、売上は前年並みながらも増益。



## 3-⑤. 物流セグメント

■事業概況：新型コロナウイルスの影響により荷動きが鈍化したため、輸配送事業では減収となったものの、冷蔵保管事業において大都市圏における旺盛な保管需要を取り込んだことにより、全体では若干の減収。また、冷凍装置換装工事等に伴う減価償却費の増加があったものの、動力費・外注費・労務コスト等が減少したことにより、増益。



## 4. 連結貸借対照表

(単位:億円)

	20年12月末	20年3月末	増減		20年12月末	20年3月末	増減
流動資産	3,398	3,020	378	流動負債	2,322	1,995	327
現預金	221	218	3	仕入債務	458	328	130
売上債権	1,406	1,061	345	短期借入金	1,399	1,225	174
たな卸資産	1,656	1,643	13	その他	465	442	23
短期貸付金	6	7	△ 1	固定負債	1,738	1,696	43
貸倒引当金	△ 5	△ 4	△ 1	長期借入金	1,440	1,392	48
その他	115	96	19	その他	298	304	△ 5
				負債合計	4,061	3,691	370
固定資産	2,306	2,261	45	株主資本	1,402	1,327	74
有形固定資産	1,499	1,482	17	資本金	200	200	-
無形固定資産	179	190	△ 12	剰余金	1,203	1,128	74
(内のれん)	61	69	△ 8	自己株式	△ 1	△ 1	△ 0
投資その他資産	628	588	40	その他包括累計	16	△ 1	17
				非支配株主持分	226	264	△ 38
				純資産合計	1,643	1,590	53
資産合計	5,704	5,281	423	負債純資産合計	5,704	5,281	423
				【ご参考】 自己資本	1,418	1,326	91

売上債権が345億円増加しておりますが、前年同期との比較では、50億円の減少となりました。負債の増加370億円は、主に有利子負債の増加、仕入債務の増加によるものです。なお、前年同期との比較による有利子負債は、42億円の減少となりました。

# 【参考】ユニット別売上高/営業利益進捗率

(単位：億円)

セグメント	ユニット	売上高					営業利益				
		20年12月期	19年12月期	増減	年間計画	進捗率	20年12月期	19年12月期	増減	年間計画	進捗率
漁業・養殖	漁業・養殖	243	299	△ 56	330	74%	△ 23	1	△ 24	△ 19	-
商事	水産商事	1,164	1,221	△ 57	1,470	79%	34	27	7	26	131%
	荷受	1,631	1,765	△ 134	2,030	80%	0	2	△ 2	△ 5	-
	畜産商事	474	458	16	610	78%	1	3	△ 1	4	25%
商事セグメント小計		3,268	3,444	△ 176	4,110	80%	36	32	4	25	144%
海外	アジア・中東	396	407	△ 11	500	79%	59	42	17	45	131%
	北米・欧州	774	803	△ 28	1,050	74%	△ 9	△ 6	△ 3	△ 16	-
海外セグメント小計		1,171	1,210	△ 39	1,550	76%	50	36	14	29	172%
加工	家庭用冷凍食品	477	446	31	630	76%	24	13	11	25	96%
	家庭用加工食品	275	286	△ 11	370	74%	25	19	5	29	86%
	業務用食品	846	929	△ 83	1,120	76%	12	16	△ 4	10	120%
	化成	134	133	1	175	77%	16	13	2	18	89%
加工セグメント小計		1,732	1,794	△ 61	2,295	75%	76	62	14	82	93%
物流	物流	120	126	△ 6	160	75%	19	18	1	21	90%
その他		106	110	△ 4	155	68%	11	9	2	8	138%
全社		0	0	0	0	-	4	4	0	3	133%
合計		6,641	6,984	△ 343	8,600	77%	172	160	12	150	115%

通期業績につきましては、セグメント・ユニット毎には表記の年間計画とは乖離が生じる可能性があります。売上高・営業利益の全社合計値の年間計画は据え置いております。

# お問い合わせ

[ir-info@maruha-nichiro.co.jp](mailto:ir-info@maruha-nichiro.co.jp)

**Thank You**



# MARUHA NICHIRO

海といのちの未来をつくる

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料の著作権やその他本書類にかかる一切の権利はマルハニチロ株式会社に属します。